

タイトル (活動概要)	22 木の中のリス	アプローチ (関連する力)	「仲間づくり」⑧ ⑨		
タイミング (実施時期)	友達になれてきた頃	活動場所	体育館	所要時間	30分
対象学年	幼・ 小低 ・ 小中 ・ 小高 中1・中2・中3・高	対象規模	学級	活動場面	学級活動
活動のねらい	<背景>群れ合い体験の不足から人間関係づくりが不得手な子どもが多い ・いろいろな友だちとゲームを通して、かかわりをもつ ・ルールに従って集団で遊ぶ楽しさを体験する				
準備	・人数調整を考えておく ・オオカミのセリフを模造紙に書いておく				
学習・活動		支援の観点・留意点等		資料等	
1 導入					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> いろいろな友達ともっと仲よくなるゲームをしよう </div>					
2 主活動 ○やり方を知る ・3人組を作る ・2人は立ったまま手をつなぎ「木」となり、残りのひとはリスになり木の中に入りしゃがむ ・「オオカミ」の言葉によって移動する		・3人組を前に出し、説明する ・はじめは担任がオオカミ役になり3パターンの練習をする ・3人組に上手く分けられないときにはオオカミを2人にして相談しながら行うこともできる ・オオカミの言葉が覚えられない子は模造紙を見ながら言ってよいことを伝える ・どう動いていいかわからない子へは担任が近くにおいて支援する ・声が聞こえない時にはマイクを使うとよい			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center;">オオカミの言葉</p> ①「来たぞ来たぞきこりが来たぞ」・木は、きこりに切られないように手を繋いだまま他のリスのところに動く ②「来たぞ来たぞオオカミが来たぞ」・リスはおおかみに食べられないように他の木に移動する ③「来たぞ来たぞ大嵐が来たぞ」・嵐に飛ばされないように全員がバラバラになり新しい3人組をつくり役割を決める </div>					
・オオカミは何にでも変身することができるので空いているところにはいり新しい役になることができる ・3人組に入れなかった人が次のオオカミになる ○ゲームをする					
3 ふり返り					
・友達について発見したことや感じたことを発表する		・友達の行動や言葉に気付き、友達とのかかわりを感じるができるようにする			
配慮事項	・ゲームのルールが飲み込めない児童がいる場合は、はじめの練習を多く取り理解させたい ・学級の実態に合わせて「きこりが来たぞ」のとき木がバラバラになって動いてもよい				

参考；丸山正ほか、東京都レクレーション連盟「小学校の室内ゲーム」（成美堂出版、1983年）